

## 事業実績書

事業名	杉原夫妻顕彰活動	
場所	沼津市港口公園、沼津市民文化センター・小ホール	
期間	令和3年4月5日～令和3年12月10日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	4月	令和3年度の顕彰活動スケジュールの確認 11月14日 第1回碑前祭開催 11月27日 第2回「命のビザ・講演会」の開催の確認 協賛広告の依頼 英文説明版の英文原案作成
	5月～7月	英文説明板の原案の校正 案内チラシの作成 イスラエル、リトアニア両駐日大使館との英文校正、説明板設置の打ち合わせ 英文説明板の最終確認、業者への発注、プログラムの制作
	9月	案内チラシの配布 「広報ぬまづ」に碑前祭の広報を依頼
	10月	11月14日開催の碑前祭の実行準備、 市内外の関係者に、案内チラシとプログラムの発送
	11月	通訳の暁秀高校生徒との事前学習、打ち合わせ 暁秀高校生の通訳リハーサル 場所 暁秀高校 当日のプログラムの確認 講演会、参加申込者の集計、役割分担 11月14日 第1回碑前祭「命のビザ・希望の集い」開催 開催場所 港口公園 無償スタッフ53名(会場係 受付 駐車場係ほか) 来客者約230名(沼津市はじめ近郊、県外より)来賓20名(内7名献花) 案内チラシ制作9,000部、プログラム制作2,000部 発送数 263通(案内チラシ+プログラム)、他市立中高教職員、各所に配布
	12月	11月27日 第2回「命のビザ・講演会」開催 開催場所 市民文化センター・小ホール 無償スタッフ20名、来客220名 12月10日 第1回碑前祭、第2回講演会の反省会 場所 長興寺
事業効果	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和2年の顕彰碑の除幕式への出席者の他、新たに参加した人々が出席して顕彰の輪が広がった。両行事とも目標人数を達成できた。</li> <li>除幕式に出席したイスラエル、リトアニアに加えてポーランドの外交官が加わり国際性が増した。</li> <li>内容を、献茶式、献花式、箏曲の奉納演奏と和の文化でまとめることによって日本文化を再認識し好評であった。</li> <li>除幕式に通訳をつとめた暁秀高校生たちが12月に沼津千本ライオンズクラブにより地域貢献で表彰され、学習意欲が向上につながった。</li> <li>沼津の顕彰碑がニューヨーク在住の邦人向け週刊紙「NY生活」に紹介され、米国でも認識されるようになった。</li> </ol>	

自己評価	<p>今年のテーマは「勝縁を結ぶ(命のビザとの素晴らしい縁を結び輪を拡げる)」としたが、あらたに多くの方々が出席してもらえた。講演会には研究課題を「命のビザ」とする中学生の出席もあり、研究の課題を提案する場ともなった。行事に和の文化を取り入れたことによって、新たな階層にも参加してもらった。今後、行事の新しい企画、プログラムに取り組みヒントにもなった。また、英文説明板の設置をイスラエル、リトアニア両駐日大使館との協働で設置し国際交流にもなった。総集編としてYouTube 配信をすることができた。</p>
今後の活動予定	<p>令和4年度は子育て世代、中高生など次代を担う世代へも参加を呼びかけたい。そのために、ジャズの奉納演奏、キッチンカーの参加などフェスティバル的要素を加味して楽しい行事として企画したい。命のビザの講演会の講師に有名俳優をお願いできたので新たな階層の人々の参加を期待している。まちづくりファンドの助成、広報ぬまづの行事案内での掲載など沼津市との協働として開催できればと願っている。また、自主企画として令和5年に沼津市制100周年を迎えるにあたり、令和3年の奉納演奏で好評を得た邦楽グループとともに「松の翠邦楽演奏会」を企画し、沼津市、邦楽、人道の精神の弥栄(いやさか)を祈念する予定。</p>